

かさの 計算

もっと応用

何mL出す？

答え

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 雨水タンクに、雨の水をためています。

タンクには5Lまで入ります。草花に水を使ったあと、また雨がふります。

さいごのもんだい 雨がふってもあふれないように、先に出す水の量を調べる。

朝の水

2L4dL

午前雨

1L750mLと8dL

草花に使う水

1L350mL

午後雨

1L650mL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： 朝の水と、午前に入った雨を、どちらもmLで考えます。

① 朝の水2L4dLは、何mL？

$$2\text{L}4\text{dL} = 2400\text{mL}$$

2400mL

② 午前に入った雨は、合わせて何mL？

$$1750 + 800 = 2550$$

2550mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 朝の水と午前雨を足します。そこから草花に使った水をひきます。

③ 問1の朝の水と問2の雨を足すと、何mL？

$$2400 + 2550 = 4950$$

4950mL

④ 問3の量から草花に使う水をひくと、何mLのこる？

$$4950 - 1350 = 3600$$

3600mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： 午後にふる雨を足します。5000mLより多い分を先に出します。

⑤ 問4ののこりに午後雨を足すと、何mL？

$$3600 + 1650 = 5250$$

5250mL

⑥ 5000mLをこえないように、先に何mL出せばよい？

$$5250 - 5000 = 250$$

250mL

考え方 どの数を使ったか、式を上からじゅんにたしかめよう。